

11 目で見ずにさわって、同じものをみつけてくる ブラインド・タッチ

人はどうしても物の認識を視覚に頼りがちです。目隠しをしてみると、さわる感覚や音を聞く感覚が一段と発揮されます。目隠しをして（ブラインド）、おしゃべりをしないで自然に向き合うと、これまでにない、感覚で自然をとらえることができるはずです。

ねらい _____

視覚に頼らないで、触覚で自然物を感知することができるようになる。視覚だけでなく、触覚でも自然を認識しようとするようになる。

達成目標 _____

- ・さわるといふことについての新しい発見を一つ以上説明できるようになる。
- ・さわった感触について、他の人にわかるように表現できるようになる。



導入 _____

さわっただけでわかったことはあるか。見てもわからないが、さわるとわかるものがあるか。今回はさわったものを探してくる活動。

まとめ _____

実際に袋の中にあつたものと、見つけ出してきたものが同じかどうか、答えあわせをします。さわっただけで探しものをしてきたことについて、感じたこと、気づいたことを話し合おう。

- ◆所要時間 30分
- ◆人数 30人程度
- ◆関連科目 理科
- ◆焦点を当てる能力 さわる、想像する、発見する表現する
- ◆準備するもの イラストのような箱か袋 中に入れるもの
- ◆安全のポイント さわるのに注意を要する生物が近くにいる場合には、プログラムに先立ってその説明をし、注意を促しておこう。

展開 _____

イラストのように、箱か袋の中に自然物を入れ、目で見ないで、手でさわっただけで、その自然物の感触、大きさなどを覚える。自然の中に出かけていって、箱(袋)の中身と同じものを探してきます。

実施のポイント _____

さわってわかることには、形、大きさ、硬さ、温度、表面の様子などがある。たたいてみることで、材質や中身の様子までわかることもある。さわることとどんなことがわかるのか、意識させてみよう。

評価の視点
さわったものの名前をいうのではなく、さわった感じを言えるかどうか。探しに行ったときに、目で探すのではなく、いろんなものにさわって確かめていたかどうか。

発展・応用
手の平と甲でさわった感じが違うことも確認しよう。手の甲では感じるけど、手のひら(指の先など)では感じないものはあるだろうか。

参考文献
オリジナル/「自然教育研究センタープログラム」

見ないでさわる(ブラインド・タッチ)

◆さわった感触を書いておきましょう。 _____ 年 月 日 名前 _____

形 _____

大きさ _____

硬さ _____

温度 _____

表面の様子 _____

予想(こんなものかな)

みつけてきたもの